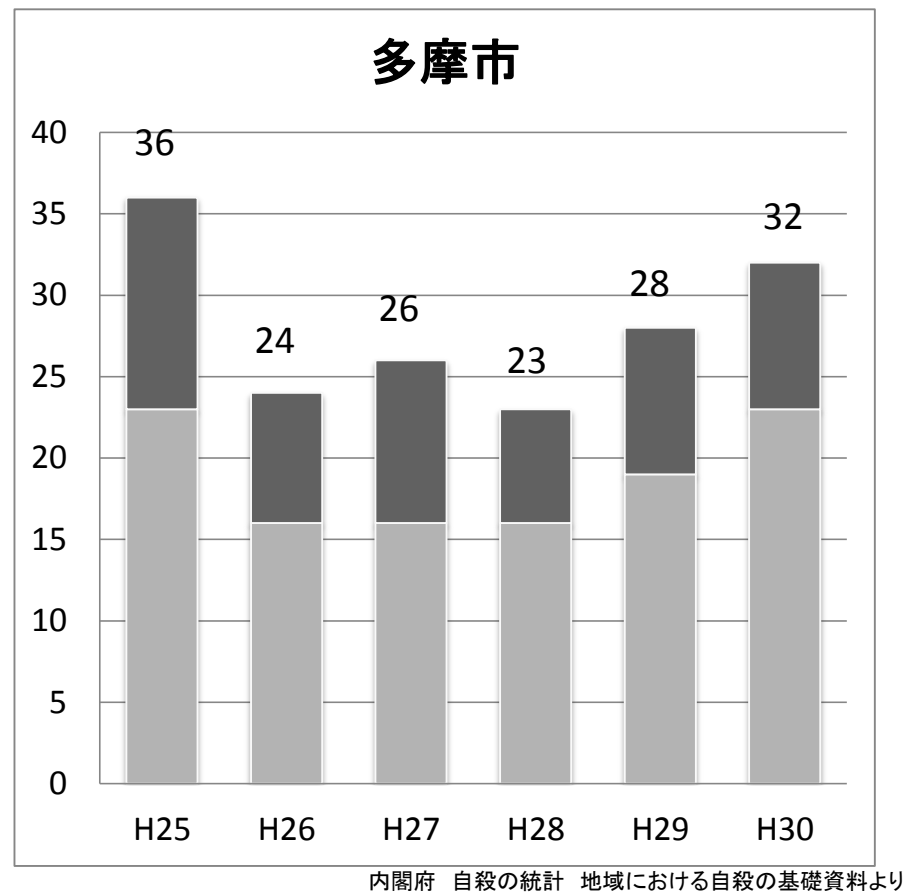
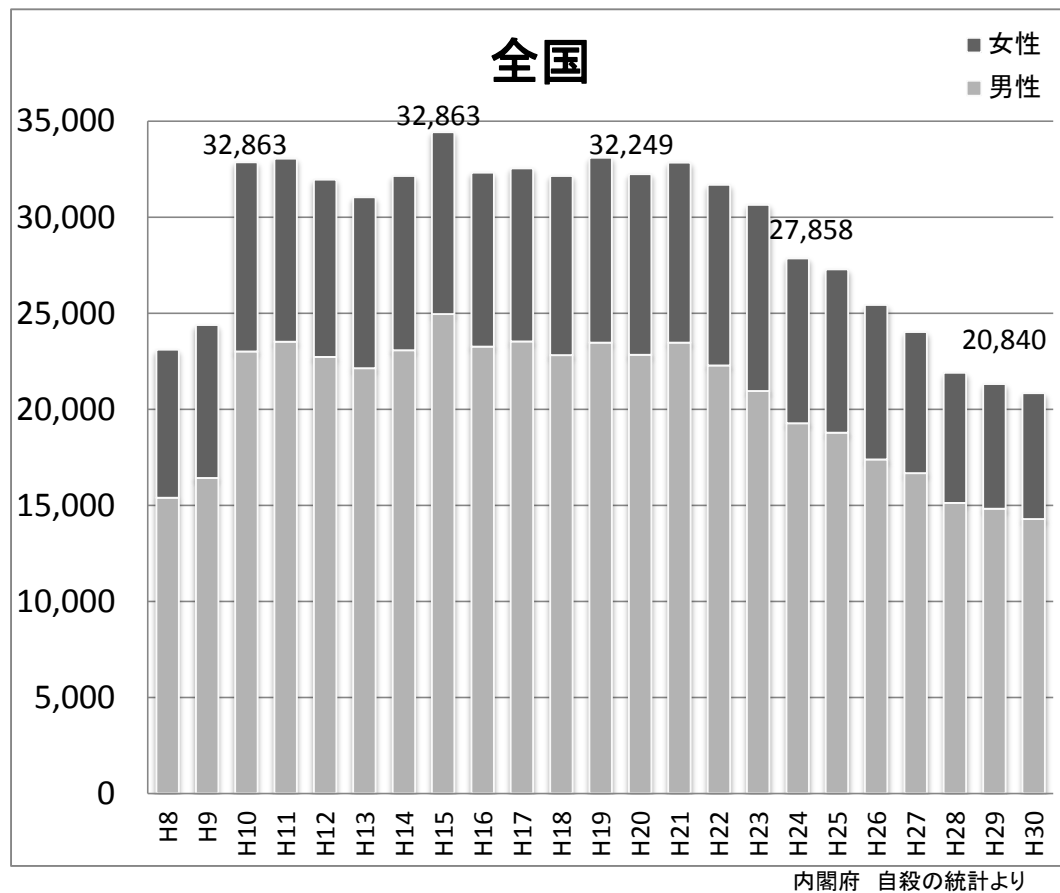


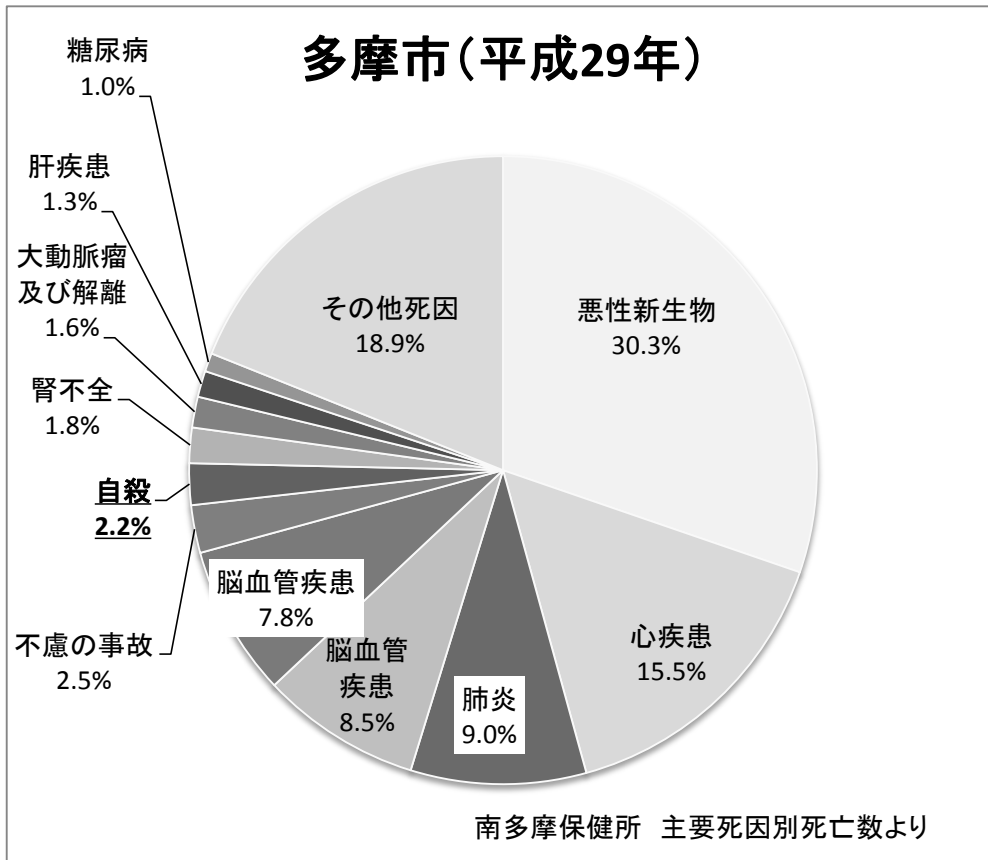
## ◇自殺者数の推移



○平成10年から23年まで、毎年3万人を超える人が自殺をしています。  
 ○平成24年から3万人を下回っていますが、日本の自殺死亡率は未だ高く、危機的な状況は変わっていません。

○自殺者数は全国的には減少傾向にありますが、多摩市では平成29年より増加しています。

## ◇死因別死亡者数



○平成29年において、多摩市では、自殺は死因の第7位です。

## ◇年齢階層別死因

東京都(平成28年)

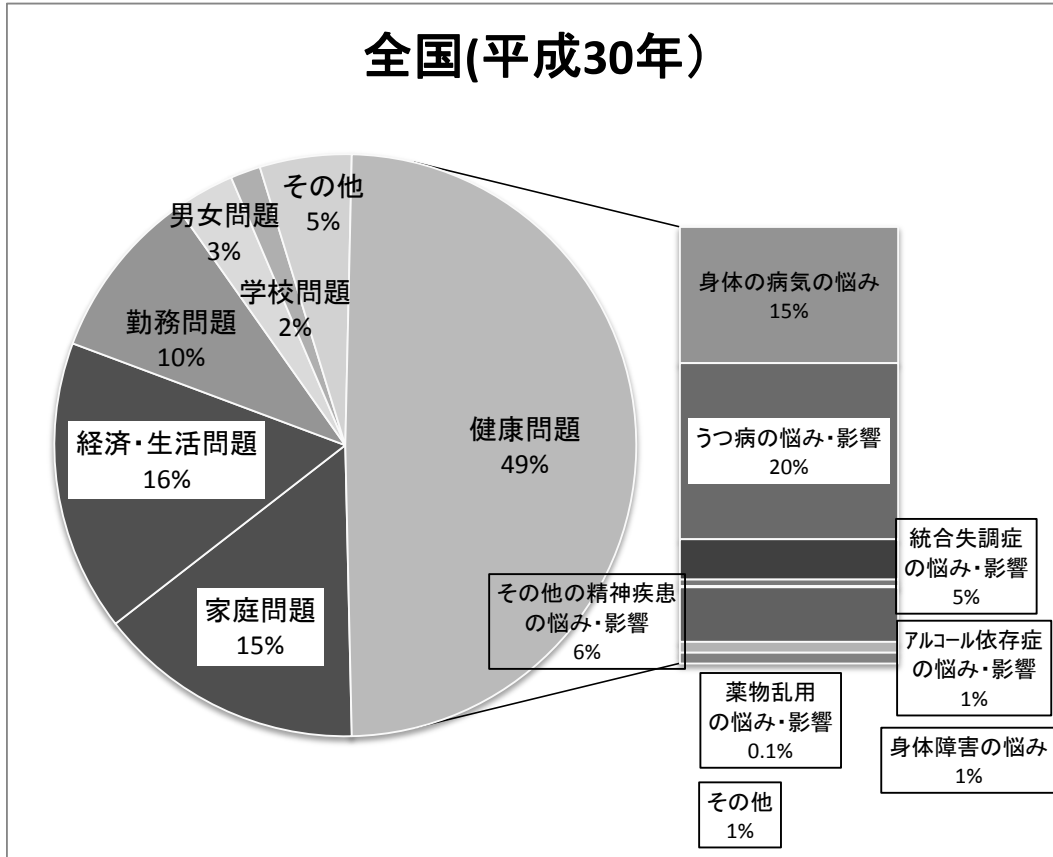
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
1位	自殺	自殺	自殺	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物
2位	不慮の事故	不慮の事故	悪性新生物	自殺	心疾患	心疾患
3位	悪性新生物	悪性新生物	心疾患	心疾患	脳血管疾患	脳血管疾患
4位	肺炎	心疾患	不慮の事故	脳血管疾患	自殺	肺炎
5位	心疾患 脳血管疾患 インフルエンザ ヘルニア及び腸閉塞	脳血管疾患	脳血管疾患	肝疾患	肝疾患	肝疾患

東京都福祉保健局HPより(出典:人口動態統計)

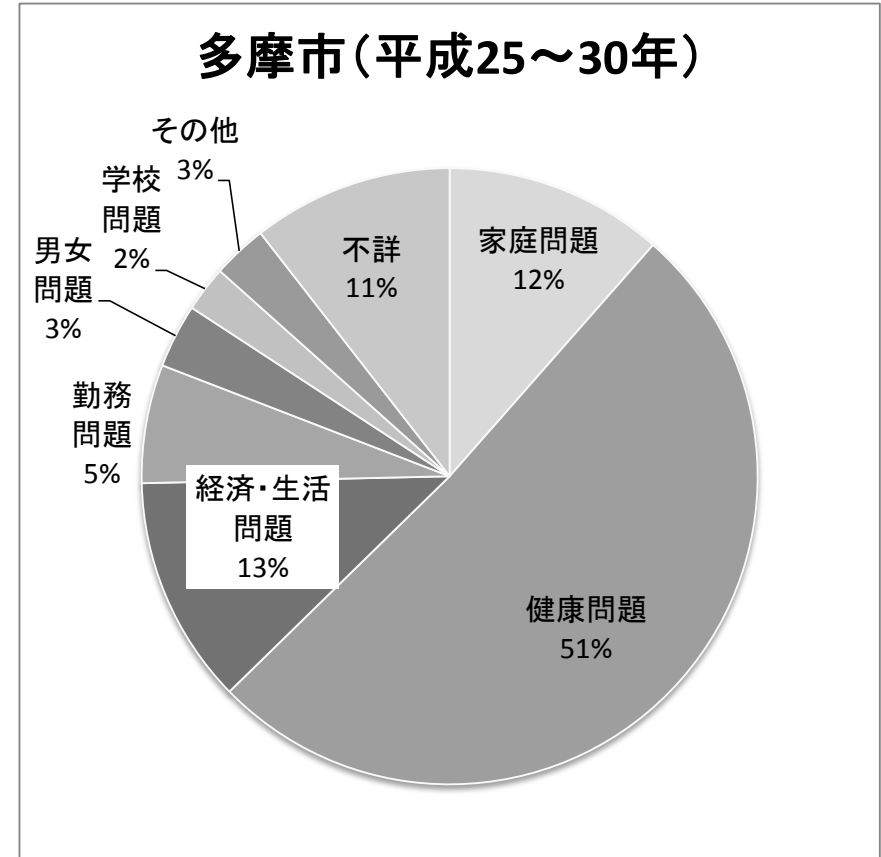
○10歳代、20歳代、30歳代の死因の第1位は自殺です。

# ◇自殺の原因・動機

○自殺に至る要因は複合的であり、決して単純ではありません。自殺で亡くなるときには、一人あたり平均4つの危機要因を抱えていたと言われています。



警察庁 平成30年中における自殺の状況より



内閣府 自殺の統計 地域における自殺の基礎資料より

- 自殺された方の多くが、健康問題を抱えています。
- 健康問題の中でも、「うつ病の悩み・影響」を抱えていた方が多くいます。

- 多摩市でも、健康問題が高い割合を占めています。